

市議会だより

大月市

令和8年5月31日発行 No.182



CONTENTS

- ・令和8年第2回（3月）市議会定例会
（議長就任挨拶）…………… P. 2～
（主な議案の内容）…………… P. 3～
- ・予算審査特別委員会…………… P. 6～
- ・議決結果等一覧表…………… P. 8～
- ・代表質問／一般質問…………… P. 10～
- ・議会日誌…………… P. 18

笹子追分人形保存会「継承の館」
開館記念上演の様子

こんな事が決まりました

2月24日～3月19日（24日間）

議長就任挨拶

令和8年第2回（3月）
大月市議会定例会において、
鈴木基方氏が、第六十五代
大月市議会議長に就任いたし
ました。



すずき もとかた
鈴木 基方

第六十五代議長

この度、議員各位のご推挙をもちまして、第六十五代議長という重責をお預かりすることとなり、その職責の重さを厳粛に受け止めております。もとより微力ではございますが、本市議会の円滑な運営と、更なる発展のため、公正無私のお心で誠心誠意務めてまいり所存でございます。

これまで、市民の皆様のお負託を受け、三期に渡り議員活動を行わせていただきました。その中で多くの困難な経験をし、その経験が私の原動力となっており、市民の負託を受けた我々議会と、市長をはじめとする執行部が互いに独立した立場から切磋琢磨する、

「三元代表制」の一翼を担う議会の役割。行政のチェック機能はもちろんのこと多様な声を政策に反映させる「立案」と「決定」の重い責任があります。本市を取り巻く状況は厳しいものですが、地域の活力を失わせるわけにはいきません。議会と執行部が互いに知恵を出し合い、市政を前進させていく必要があります。

議会の責任を果たす為、行政への監視、行政との協力の二点を軸に、議会内での活発な議論を重視しながら公平公正を旨とした議会運営を行ってまいります。皆様と共に歩んでいくことをお誓い申し上げます。

抱負を語る

Q どのような議会を目指すのか

A 議会が、議員が、市民の皆様のお負託を受け、その上で行使することとなる議決権の重さを重視していきたいと考えます。議案について綿密な調査研究を重ね、審議し、その上で下した判断には議員個人は全責任を負う。議会に与えられている議決権の重さが重視されているという、全くもって普通の議会を目指したいと考えます。

Q 今後の意気込みは

A 課題となっているタブレットの導入、各委員会の在り方などの事項を速やかに検討し、また、議会とは何か、議論の在り方とは何かという再確認の意味や、多様な意見を反映させるために、一期の議員を中心に、議会研究会を立ち上げました。活発な議論の場となることを期待しております。まずはここから始めたいと考えております。

執行部への監視と協力、市民の皆様のお負託を受けているということ、そのことに全責任を負うことのできる議員による議会を目指したいと考えています。



鈴木基方議長就任挨拶動画はこちら



市長提出

- 報告・・・・・・・・・・1件
- 条例案件・・・・・・・・・・9件
- 当初予算案件・・・・・・・・8件
- 補正予算案件・・・・・・・・8件
- その他の案件・・・・・・・・1件
- 人事案件・・・・・・・・・・5件
- 条例案件・・・・・・・・・・1件

議会提出

主な議案の内容

条例

◎大月市関係人口・交流人口創出拠点施設設置及び管理条例制定の件

・関係人口、交流人口の創出機能を拡充し、より広い利用に供するため、施設の使用料の改定、指定管理者による管理等、運営の基本事項を定める。

◎大月市消防団員の定員、任命、給与、服務等に関する条例中改正の件

・消防団員の処遇改善に係る更なる取り組みとして消防団員の年額報酬の額を改める必要があることから所要の改正を行う。

人事

◆歳出
○学校施設営繕工事
3億215万3千円

予算（当初）

一般会計予算
141億3,500万円
前年度比
10億5,000万円増

◎大月市副市長の選任について同意を求める件
・坂本和彦氏を副市長に選任することに同意。

◎大月市教育委員会教育長の任命について同意を求める件
・秋山俊一氏を教育長に任命することに同意。

予算（補正）

◎令和八年度大月市一般会計予算・特別会計予算・事業会計予算
・予算審査特別委員会のページをご覧ください。

◎大月市教育委員会委員の任命について同意を求める件
・渡邊正法氏を委員に任命することに同意。
・安富芳森氏を委員に任命することに同意。



浅利マルチベース

◆歳入
○ふるさと大月応援基金繰入金

・学校施設営繕工事に充当
1億3,800万円

常任委員会の様子

●総務産業常任委員会

扇山林野火災について

(消防本部)

※冒頭、林野火災について報告がなされました。

扇山林野火災は、鎮火までに約一か月以上を要しましたが、関係機関の応援協力をいただき鎮圧、鎮火に繋がりました。自衛隊の大型ヘリによる消火活動、消防団員による人海戦術、予防注水により防火線を張り延焼を食い止めたことなどは、かなりの効果がありました。また、初めて民間のドローンを活用して熱源を感知し、ピンポイントで散水ができたことも重要なことでした。

厳しい現場で消火活動をしていただいた関係機関の皆様への協力、支援に感謝申し上げます。



Q 資機材の破損等々についての予算措置は。

A 人件費、修繕費、物件の破損費も含めて既に特別交付税の申請をしております。

Q 自衛隊との連携にグリッド図が有効だったと聞いたが。

A グリッド図によりピンポイントで散水ができたこと、隊員の活動を把握できたことで安全距離が保たれ、散水を行いつつ入山しての消火活動ができたことなどが有効でした。

中小企業振興に関する条例制定について

(産業観光課)

Q 中小企業に関する条例と、地域循環型条例との関係性は。

A 中小企業は高齢の経営が多く、事業承継と人材の確保、この二つを重点的に取り組む内容になっております。

鳥獣被害防止計画について

(産業観光課)

Q 鳥獣害防止柵を設置して農業等の被害を防ぐようになっているが、さらに予算を取ることは考えているか。

A シカの被害が増えており、市内でもJR沿線の被害がひどく、県も強化に乗り出しております。クマ対策は、市緊急銃猟の予算の増額を考慮しております。

●社会文教常任委員会

空き家対策について

(市民課)

Q 令和7年12月時点で所有者に対して意向調査を行っていたと確認したが、その後の進捗状況は。また、開催予定と聞いていた審議会開催等の状況は。

A 意向調査の大半を確認しており、令和8年1月8日には空き家対策審議会を開催しました。審議会では、30棟の空き家について特定空家として指定しました。

子ども誰でも通園制度について

(子育て健康課)

Q 保育所等に通っている園児は何%か。

A 令和7年4月1日時点ですが、保育園に通う0歳から5歳までの年齢のお子さんでは399人の住民登録があります。令和8年2月1日時点の通園者は342人で、85.7%が通園状況であると確認しております。

Q 制度の導入にあたって、費用負担はどの程度か。

A 利用者、保護者の負担になり、月10時間までの利用で、1時間あたりお子様おひとり300円の利用料を考慮しております。



◆おめでとうございます

5名の議員へ、山梨県市議会議長会会長より、感謝状の贈呈及び表彰状が授与されました。

◆一般表彰

・正副議長2年以上表彰
・議員勤続10年以上表彰



やまだ まさふみ
山田 政文 議員

・議員勤続10年以上表彰
感謝状



そうま ちから
相馬 力 議員

・議員勤続10年以上表彰



すずき もとかた
鈴木 基方 議員

◆特別表彰

・議員勤続35年以上



はぎわら つよし
萩原 剛 議員

・議員勤続30年以上



おくわき かずお
奥脇 一夫 議員

山梨県市議会議長会議員合同研修会（後期）



山梨県市議会議長会は、令和8年2月10日（火）にアピオ甲府において議員合同研修会（後期）を開催しました。県内13市議会の議員、及び事務局職員が参加し、大月市議会からは7名の議員が参加しました。

講演会では、静岡県藤枝市理事兼人材育成センター長 山梨秀樹氏を講師に迎え、「未来をたくましく生き抜く！自治体の言葉力」をテーマに講演をしていただきました。

研修会の感想

自治体の活性化には、人材育成を中核に据え、人材を単なる労働力ではなく地域の未来を支える貴重『人材』として捉える姿勢が不可欠である。特に、人材が真に成長するためには、挑戦を歓迎し、意見を尊重し合い、互いの努力を認め合える健全な職場の雰囲気が必要である。こうした環境が職員一人一人の主体性や専門性を引き出し、自己確立を後押しする。

職員が自らの役割に誇りを持ち、地域の課題に向き合う力を高めていくことは、組織全体の活力を生み出す源泉となる。結果として、自治体職員と私達議員の成長が組織の成長と連動し、最終的には地域社会の持続的な発展と自治体の真の活性化へと結び付くと考えられる。

（文責 鈴木竜児）

令和8年度当初予算を可決



委員長
たなもと あきゆき
棚本 晃行

設置され、本委員会に議案第11号「令和8年度大月市一般会計予算」から議案第18号「令和8年度大月市下水道事業会計予算」まで、

意見等が出されましたが、そのうち、本市の最重要課題である「安心して子どもを産み育てられるまち」について申し上げます。

また、議案第11号「令和8年度大月市一般会計予算」については、附帯決議事項を委員会の意見として委員長報告に付し、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しましたので、その決議内容について報告いたします。

また、市民に丁寧な説明を十分にするなど、慎重に事業を進めること。

2. 短大の方向性の明確化
基本問題審議会の答申を受け、4月には新学長も迎える中で、大月市立大月短期大学の存続に向けた具体的な施策を速やかに示すこと。



副委員長
すずき りゆうじ
鈴木 竜児

8件の予算案件が付託されました。付託されました8案件を審査するため3月13日、16日、17日の3日間、委員会を開催いたしました。

本市における出生数が減少の一途を辿る現状に対し、委員からは、これまでの子育て支援策は着実に進展しているが、子供を授かる前の環境整備について、現状分析をさらに進め、より丁寧に把握すべきとの提案がありました。

本市における新庁舎建設事業は、防災拠点の確保および行政サービスの向上を目的として推進してきたものである。しかしながら、本事業は大規模投資であり、慎重な対応が必要である。

3. 公有財産の有効活用
公有財産については、今後の利用状況を見極め、今後の活用の見通しを整理し、用途転用や売却なども含め最大限に有効活用すること。

令和8年度予算審査特別委員会 委員長報告（要旨）

令和8年第2回（3月）市議会定例会、開会日に、委員12人で構成する令和8年度予算審査特別委員会が

「令和8年度大月市一般会計予算」から議案第18号「令和8年度大月市下水道事業会計予算」までの8会計について、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

まず、出生数の減少に対して、要因分析を早急に行うよう強く求めるものがあります。出生数の反転は、一朝一夕には成し得ない困難な課題ではありますが、本予算の執行に当たっては、各施策の検証を徹底し、本市の持続可能な未来に向けて不退転の決意で臨むよう強く求めます。

現在、大月市立大月短期大学においても入学生が大幅に減少しており、今後の存続を含めた経営方針の本格的な見直しを避けられない局面を迎えている。よって、令和8年度予算執行において、以降の事項を遵守することを求める。

1. 新庁舎建設事業の進め方
設計業務の実施に当たっては、今後の総事業費や財政負担を十分精査すると

主な予算の使い道が決まりました



【事業名】 大月駅周辺基盤整備事業
【事業費】 7億 1,467万 5千円
【内 容】 大月市立地適正化計画に示されたまちづくり方針に基づき、地域拠点である大月駅周辺の基盤整備を推進し、都市機能が集積し、暮らし・交流の拠点となる中心市街地の形成を図る。
大月市駅裏通り線拡幅事業（令和3年～事業期間7年間）



【事業名】 児童・生徒登下校安全対策バス運行事業
【事業費】 1億 8,527万 5千円
【内 容】 保護者負担の軽減、少子化対策に配慮した子育て支援の一環として、路線バスの活用ができる1km以遠から通学している児童・生徒に定期券を交付し、登下校の安全確保を図る。



事業名】 eL-QR 納付書対応システム改修事業
【事業費】 635万 8千円
【内 容】 キャッシュレス決済に対応するため、電子収納（eL-QRを活用した公金収納）対応納付書発行を可能とするシステムへ改修し、住民・事業者の利便性向上を図る。
(R9.4 運用開始予定)



【事業名】 洪水・土砂災害ハザードマップ更新事業
【事業費】 742万 5千円
【内 容】 山梨県が令和7年度に洪水浸水想定区域及び土砂災害警戒区域を指定したことに伴い、洪水・土砂災害ハザードマップを更新し、市民の防災意識の向上と円滑な避難に資する取り組みを推進する。



【事業名】 保育所等給食費負担軽減事業
【事業費】 1,479万 5千円
【内 容】 市内に住所を有する未就学児を対象に、保育所等の給食費（主食費および副食費）を無償化することで子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の整備を図る。
(市単独事業)



【事業名】 小学校施設営繕工事（照明LED化改修工事）
【事業費】 1億 2,684万 4千円
【内 容】 小学校校舎及び体育館の照明をLED化することで環境に配慮するとともに、児童の健全な学習環境の整備を図る。
(照明LED化改修工事)



【事業名】 新庁舎建設事業
【事業費】 2億 2,098万 9千円
【内 容】 大月市新庁舎整備基本計画に基づき、現市役所本庁舎敷地を拡張するための用地取得業務を進めるとともに、令和8年度からの2年間で、基本・実施設計業務に取り組み、市民サービスや防災対策の拠点となる新庁舎建設事業を推進する。



【事業名】 総合福祉センター管理運営事業（6階多目的室空調工事）
【事業費】 1,263万 9千円
【内 容】 総合福祉センターの空調設備について、老朽化した機器の更新等を行い、施設利用者の安心・安全と快適性の確保を図る。併せて、安定的な施設運営と適切な維持管理を推進する。



【事業名】 放課後児童健全育成事業（学童保育）
【事業費】 6,251万 5千円
【内 容】 保護者の仕事と子育ての両立を支援するため、学童支援員体制の強化や開所時間の改善を図り、放課後の質をこれまで以上に高めることを目的として専門業者に運営を委託し、子供が安心安全に過ごせる居場所を確保する。

議決結果等一覧表

賛成○ 反対● 退席― ※鈴木基方 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩	奥	小	山	藤	山	相	棚	山	鈴	鈴	天	結 果
			原 剛	脇 一 夫	原 丈 司	田 善 一	本 実	田 政 文	馬 力	本 晃 行	地 渉	木 康 揮	木 竜 児	野 築	
報告	専決第1号	令和7年度 大月市一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	専決第2号	令和7年度 大月市一般会計補正予算（第9号）													
条例	第2号	大月市関係人口・交流人口創出拠点施設設置及び管理条例制定の件													可決
	第3号	大月市中小企業・小規模企業振興基本条例制定の件													
	第4号	大月市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件													
	第5号	大月市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定の件													
	第6号	大月市情報公開条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第7号	大月市職員給与条例中改正の件													
	第8号	大月ふれあい農園条例中改正の件													
	第9号	大月市火災予防条例中改正の件													
	第10号	大月市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例中改正の件													
	第33号	大月市議会委員会条例中改正の件													
当初 予算	第11号	令和8年度 大月市一般会計予算													可決
	第12号	令和8年度 大月市大月短期大学特別会計予算													
	第13号	令和8年度 大月市国民健康保険特別会計予算													
	第14号	令和8年度 大月市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	第15号	令和8年度 大月市介護サービス特別会計予算													
	第16号	令和8年度 大月市後期高齢者医療特別会計予算													
	第17号	令和8年度 大月市簡易水道事業会計予算													
	第18号	令和8年度 大月市下水道事業会計予算													
補正 予算	第19号	令和7年度 大月市一般会計補正予算（第10号）													可決
	第20号	令和7年度 大月市大月短期大学特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	第21号	令和7年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）													

令和8年3月定例会

賛成○ 反対● 退席一 ※鈴木基方 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩原	奥脇	小原	山田	藤本	山田	相馬	棚本	山地	鈴木	鈴木	天野	結 果
			剛	一夫	文司	善一	実	政文	力	晃行	渉	康揮	竜児	築	
補正 予算	第22号	令和7年度 大月市介護保険特別会計補正予算(第3号)													可決
	第23号	令和7年度 大月市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)													
	第25号	令和7年度 大月市一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第26号	令和7年度 大月市大月短期大学特別会計補正予算(第4号)													
	第27号	令和8年度 大月市一般会計補正予算(第1号)													
その他	第24号	市道の路線廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	第28号	大月市副市長の選任について同意を求める件													同意
	第29号	大月市教育委員会教育長の任命について同意を求める件													
	第30号	大月市教育委員会委員の任命について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第31号	大月市教育委員会委員の任命について同意を求める件													
	第32号	大月市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件													

・会派名の変更

令和8年2月9日に、会派「大月の新しい風」天野築代表より、会派名の変更届が提出されました。

旧・大月の新しい風
新・市民とともに歩む会

・会派所属議員の変更

令和8年2月24日に、会派「市民とともに歩む会」天野築代表より、会派所属議員変更届が提出されました。

※萩原剛議員、相馬力議員、鈴木竜児議員が会派入りしました。

・会派代表者の変更

令和8年3月9日に、会派「市民とともに歩む会」天野築代表より、会派代表者変更届が提出されました。

旧代表…天野 築
新代表…萩原 剛

会派構成

◎市民とともに歩む会

代表者

所属議員

萩原剛
山田政文
相馬力
山地渉
鈴木竜児
天野築

◎山と川の街大月

代表者

所属議員

奥脇一夫
小原晃行
棚本司

◎無会派議員

山田善一
藤本実
鈴木基方
鈴木康揮



市政を問う

3月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

代表質問

- | | |
|---|--------|
| (1) 山地 渉 議員 (市民とともに歩む会) | 11 ページ |
| ①子育て支援施設の新築と既存施設の大規模改修の比較は
②クーリングシェルターを憩いの拠点として運用する考えは | |
| (2) 山田政文 議員 (市民とともに歩む会) 関連質問 | 12 ページ |
| ①ゼロ歳児から2歳児の保育料無償化について問う
②消防団員の出勤手当等について伺う | |
| (3) 棚本晃行 議員 (山と川の街大月) | 13 ページ |
| ①大型ヘリ対応のヘリポート整備を | |

一般質問

- | | |
|---|--------|
| (4) 藤本 実 議員 | 14 ページ |
| ①取扱店舗の発信を強化する考えは
②大月市民会館の冷暖房費は無料に | |
| (5) 鈴木康揮 議員 (公明党 所属) | 15 ページ |
| ①大月市民会館の利用者への情報共有について
②消防本部の広域化について伺う | |
| (6) 山田善一 議員 | 16 ページ |
| ①初狩保育所等の新築整備を求める署名への対応は
②新聞折込みの修繕見積り額で改修可能か | |
| (7) 天野 築 議員 (市民とともに歩む会) | 17 ページ |
| ①最少の人員と最少の財源のバランスと戦略は
②消防団の装備拡充と実情を踏まえた配備スケジュールは | |



市議会のページは
こちらから



大月市議会
YouTube
チャンネルは
こちらから

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。
詳しい内容については、会議録（6月上旬公表予定）を図書館及び市のホームページで閲覧することができます。また、大月市議会 YouTube チャンネルで映像配信も行っております。



市民とともに歩む会

やまじ 山地 わたる 渉

Q 子育て支援施設の新築と既存施設の大規模改修の比較は

A 既存施設を前提とした大規模改修は現実的でない

問 初狩保育所施設の建設における土砂災害警戒区域への新築と既存施設の大規模改修の比較検討状況を問う。

応は現実的ではないと判断し、新築整備を基本として検討を進めてきました。

整備場所は土砂災害警戒区域に該当しておりますが、土砂災害は地震と異なり、気象状況や警戒情報により、一定程度事前の把握が可能です。一定程度事前の把握が可能なとされており、

答 市民生活部長
児童の安全確保を最優先に考え、既存の施設を前提とした大規模改修による対

そのため、避難対応等を含めた安全確保を前提に、関

係法令に基づき必要な安全対策を講じた設計とするこ
とで対応可能であると考え
ております。
議会及び市民の皆様へ丁寧
に説明を行いながら、令和
9年度中の供用開始を目標
として取り組んでまいります。

Q クーリングシェルターを憩いの拠点として運用する考えは

A 一時避難場所であり常時の交流拠点とは運用が異なる

問 猛暑期間における指定施設の無料開放を単なる避暑地ではなく、住民が自然と集まり交流ができる憩いの拠点、コミュニティハブとして運用する考えを問う。

クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）は、熱中

答 市民課長

症による健康被害を防ぐ目的で設置するものと位置づけられており、市内には民間施設を含む9施設を指定しております。熱中症特別警戒アラートが発表された際に暑さをしのぐための一時避難場所として開放することとしており、猛暑期間を通じて常時の交流拠点としての運用とは異なります。

再質問

問 アラートが出ようが出まいが暑いのです。猛暑期間を通じて常時の交流拠点としての運用とは異なるというが一石二鳥だと思いが如何か。

答 市民課長

クーリングシェルターを地域の憩いの拠点として常時開放するということがありますが、クーリングシェルターとは別の運用として、憩いの拠点等常時のコミュニティハブとしての施設

を開設することを、また別に検討してまいりたいと考えております。



大月市民会館

その他の質問

問 公約である道の駅事業について

問 大月短期大学志願者確保に向けた具体的な戦略は

問 林野火災跡を負の遺産とせずスタディツアー等の推進を

問 地域拠点整備について

問 部課の連携について

問 公共施設管理について



市民とともに歩む会

やまだ まさふみ
山田 政文

Q ゼロ歳児から2歳児の保育料無償化について問う

A 財源見通しを踏まえつつ 具体化を検討する

問

保育料の無償化は、大月市は子育てを全力で応援するという強いメッセージになると思う。今こそ、第1子からの保育料完全無償化を、明確な実施時期を掲げて決断すべきだと考える。市長のスピード感ある決断を求める。とともに、考えを伺う。

答 子育て健康課長

ゼロ歳児から2歳児の保育料無償化につきましては、子育て世帯の経済的負担軽減に資する重要な施策であり、本市としてもその必要性は十分認識しております。第1子から無償化した場合は、本市では本年度の園児数では、年間約2,000万円



規模の事業費が見込まれ、制度は開始すれば継続が前提となるため、安定的な財源確保が不可欠であります。国の制度動向や財政見通しを踏まえつつ、令和9年度以降の施策展開も視野に入れながら、持続可能な制度設計の下で具体化を検討してまいります。

Q 消防団員の出勤手当等について問う

A 財今後他市の取組等も参考に研究していく

問

扇山での林野火災において、消火や警戒活動に出勤した団員の延べ人数と出勤手当の総額及び夜間に従事した団員数と、拘束時間はどのようだったか伺う。また、出勤手当の夜間割増しについて団員から要望が出ているが、所見を伺う。

答 消防長

今回の扇山林野火災では、13日間で延べ757人の団員が出勤し、出勤手当の総額は約600万円となっております。また、夜間の出勤につきましては、1月16日から19日の夜間において、団員203人がの活動を

行っております。

次に、夜間割増しについて団員から要望をいただきたいが、検討する考えはについてであります。本市では、今年度から出勤報酬を従来1日1,000円から8,000円に増額し、総務省の定める標準額に達したところであります。

現段階におきましては、改定直後ということもあり、新たな課題が出ることも予想されるため、今後他市の取組等も参考に研究してまいります。

その他の質問

問 大月短期大学の今後について



山と川の街大月

たなもと あきゆき
棚本 晃行

Q 大型ヘリ対応のヘリポート整備を

A 常設ヘリポートの確保に向け調査を行なっていく

問

扇山林野火災では総合グラウンドをヘリ離着陸場として使用したが、多額の復旧費の発生や、駐機場所不足による活動制限が生じた。大型ヘリに対応したヘリポートを早急に整備すべきと考えるが市の見解は。

答 消防長

本市は大部分を山林が占めており、救急医療や大規模災害におけるヘリコプターの有用性は、極めて高いものと認識しております。特に一刻を争う重篤な救急患者を搬送するドクターヘリや林野火災、山岳救助に

おける防災ヘリの活動拠点を確保することは、市民の皆様方の生命と財産を守る上で不可欠な課題であると捉えております。現在、本市では、18か所の離着陸場を指定し運用を行っております。しかしながら、この場所は学校の校庭や未舗装のグラウンドが中心であり、ヘリコプターの吹きおろしの風による砂ぼこりを防ぐため、消防隊による事前の散水活動が必要となる離着陸場が多くを占めております。このことは、ヘリコプターが現場上空に到着しても、地上の散水準備が整うまで着陸できず、搬送開始までにタイムラグが生じる要因となっております。

また、火災やほかの災害と重なった場合、散水のために消防車両と人員を割かなければならず、消防力の分散を招くという課題を抱えております。散水を不要とする新たな常設ヘリポートの建設には、航空法の基準を満たす広大な平坦地の確保や、舗装及び整地に

係る多額の経費がかかることから、昨年度市長が県知事へ建設に向けた要望を行ったところであります。将来的な展望といたしましては、新たな防災拠点の整備計画や大規模な公共施設の更新時期なども捉え、常設ヘリポートの確保に向け調査研究を行ってまいります。



写真提供：大月市消防本部

再質問

問

今後、適地選定をどう進めていく考えか。

答

警防課長

現在、大月市内のヘリポート候補地につきましては数か所ございますが、いずれも条件に適合するか確認をしているところであります。

ヘリポートは広域的な利用形態を持つことから、東部地区の広域的な共同整備も視野に、近隣市にも適した土地があるか、また、山梨県が所有している土地の借用も可能かについて、令和8年度中に広い視野で研究してまいります。

その他の質問

問 新庁舎建設整備事業について

問 大月短期大学について

問 ドローン等の先端技術の活用について

問 こどもの居場所づくりについて

問 5歳児健診について



ふじもと みのる
藤本 実

Q 取扱店舗の発信を強化する考えは

A 取扱店舗の一覧を紙媒体で配布する

問

「小規模店舗の多くは、
「本当に売上げが増えるのか」と不安を抱えている。取扱店舗限定のチラシ配布や、SNS、市ホームページでの店舗紹介、スタンプラリーとの連動など、PR強化は参加意欲を高める有効な手段だと考えるが。」

答 企画財政課長

大月市くらし応援特別商品券事業の目的は、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市民の家計負担の軽減を図るとともに、地域における消費を喚起し、地域経済の活性化を図ることにあります。この目的を達成するた

め、2月19日に286の事業者へ取扱店舗募集の通知を郵送いたしました。

提案いただきました「広報おおつき」への同封による一枚広告の作成につきましては、取扱店舗を広く周知するという観点から、大変有意義なご提案だと受け止めております。既に本事業では、商品券を引き換える際、取扱店舗の一覧を紙媒体で配布することとしており、市民の皆様のお手元に一覧表をお届けすることとしてするため、広報に同封することと同様の効果が期待できます。引き続き、取扱店舗の情報を市民の皆様へ迅速かつ広くお届けしてまいります。



大月市くらし応援特別商品券

Q 大月市民会館の冷暖房費は無料に

A 令和8年4月1日以降の無料化を決定し期限を定めず適用

問

従来から文化協会が要望し、市民団体による要望署名も1,600筆余提出された。無料化によって市民の文化活動を支える効果は大きいと考えるが。

答 教育次長

市民会館の冷暖房費につきましては、県内でも甲府市、甲州市、南アルプス市、富士吉田市ほか4自治体と同様に、施設使用料とは別に利用者にご負担いただいてまいりましたが、使用料が減免となった際にも、冷暖房費は減免対象ではないことから、冷暖房費が使用料を上回る場合があり、負

担感が大きく、かねてより減免を求める声がありましたので、検討を重ねた結果、令和8年1月1日以降の無料化を決定し適用しております。これは期限を定めているものではありません。

この無料化実施後の令和8年2月26日に1,600筆余の署名を伴う要望書をお受け取りしましたが、皆様のご要望に沿うものと考えております。



大月市民会館室内エアコン



すずき こうき
鈴木 康揮

公明党 所属

Q 大月市民会館の利用者への情報共有について

A 市民会館駐車場の混雑予想の情報提供をこのたび開始しました

際は、市立図書館駐車場もご利用いただけるよう案内を強化するとともに、インターネット上から空き状況の確認や、施設の仮予約を行うため導入、運用しております。また、ネットのお知らせ欄において、市民会館駐車場の混雑予想の情報提供を、このたび開始いたしました。ご利用方法は、市ホームページ内「市民会館施設貸出」のページに掲載しております。

問

大月市民会館大ホールで大規模な催しが行われる際は、他の小規模な会議室などの利用者が駐車できない状況、貸出し予約において、利用希望日の他の施設の利用状況の共有は可能か。

答 教育次長

市民会館の駐車場の総収容台数は142台であり、大ホールでのイベント開催時などには、近隣に借用を依頼し、臨時的に駐車場を確保してまいりましたが、それでもなお不足する事態が生ずることがあり、市民会館周辺での駐車が困難な



大月市民会館駐車場

Q 消防本部の広域化について伺う

早期の消防広域化実現に向け推進したい

問

本市では、既に隣接市村との消防指令センターによる指令業務の共同運用を行っており、連携実績がある。

今後消防本部機能の他市との広域連携の推進について伺う。

答 消防長

消防広域化の検討につきましては、数年前から都留市と上野原市の3市間で東部地区の広域化に向けた研究会を開催し、人員、署所の適正配置、車両の適正化及び職員採用の課題等を研究しております。消防の広域化は、火災や大規模災害の際に、多数の人員や車両を迅速に集中投入でき、現場対応力の強化と初動の迅速化が図られ、さらに組織の規模が拡大することで人

員配置に余裕が生まれ、高度な技術を持つ専門部隊の育成や、救急救命士の増員が容易になることなど、組織全体のスキルアップや士気の向上にも寄与しております。消防の広域化は単なる効率化だけではなく、住民の命と暮らしを守る消防力そのものを底上げできる大きなメリットであると考えられます。

課題といたしましては、各市の職員数の差によるサービスの均衡化等が挙げられますが、近年少子化による就業人口の減少に伴い、消防職への応募者の減少が非常に深刻な課題となっており、早期の消防広域化の実現に向け推進したいと考えております。

その他の質問

問 ごみ、たばこのポイ捨て規制について



やまだ よしかず
山田 善一

Q 初狩保育所等の新築整備を求める署名への対応は

A 子どもたちの安全確保と地域の将来を見据え責任ある判断を行う

問 初狩保育所及び学童の移転による新築整備を求める署名2, 839筆をどう受け止め、どう対応するのか。

答 市長 提出されました2, 839筆の署名につきましては、多くの市民の皆様が初狩保育所及び学童クラブの将来

子供たちの安全確保と地域の将来を見据えた最適な整備となるよう、責任ある判断を行ってまいります。

Q 新聞折込みの修繕見積り額で改修可能か

A 記載の5, 000万円では現施設改修は現実的に不可能

問 新聞折込みに、初狩

保育所の構造耐震指標が0.8であり、園内スライド工法と外装リフレッシュを並行して行い、内外装を修繕する場合の見積りが約5, 000万円という記載もあるが、本当に可能か。

答

市長 初狩保育所は、昭和42年に建設されており、昭和56年の新耐震基準前の建物です。耐震一次診断において、耐震性能を表す指標I s値は0, 59で、規格値を満たさない非耐震の構造物と

され、全体としては震度6もしくは7の地震で倒壊または崩壊する危険性があるとされており。

再質問

だと考えております。

問 改修による対応は検討の余地があるか。

答

子育て健康課長

園内スライド工法と外装リフレッシュを並行して行い、修繕費用が約5, 000万円と記されていることについては、少なくとも現施設を継続して使用するには、耐震補強と水道などの設備関係の修繕、窓、床、壁天井などの補修が必要となり、お昼寝が必要な小さなお子様の利用に当たっては、仮の園舎などが必要となると考えております。

公共施設等総合管理計画の中では、既存施設の改修のうち、園舎建て替えに約2, 400万円、事務室建て替えに約8, 700万円、遊戯室等の大規模改修に約4, 300万円の計1億5, 400万円。学童クラブたきごに約2, 300万円。これらに10年間の物価上昇を見込むと、おおよそ2億7, 000万円となり、5, 000万円の費用で現施設の改修は現実的には不可能

現実的には不可能であると考えております。現在の初狩保育所は一次耐震診断において、I s値が0, 59とされ耐震機能を満たしていない建物となっております。仮に改修によって使用を継続する場合、耐震補強に加え、施設改修や仮園舎の確保などが必要となり、相当の費用と期間を要することが想定されます。児童の早期の安全確保の観点から、改修ではなく新築整備が必要であると判断しております。

初狩保育所 (外観)





市民とともに歩む会

あまの きずく
天野 築

Q 最少の人員と最少の財源のバランスと戦略は

A 優先順位の高い事業に重点配分し、役割を終えた事業は見直す

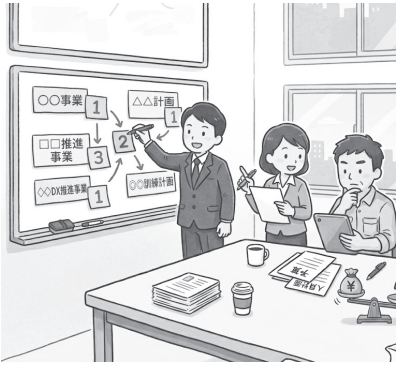
問

令和8年度予算の編成方針として、最少の人員、財源で最大の効果が得られるよう創意工夫を重ねたというところだが、何を基準に優先順位をつけ、どのように全体のバランスを取っていくのか。

答 市長

人口減少が進む中で、限られた人員体制の中で工夫を凝らし、業務を遂行しなければならぬ状況にあります。財源につきましても、真に必要な事業へ適切に予算を配分し、事業効果の高い施策への重点投資が求められます。そうした中で

戦略は、徹底した業務の効率化と事業の選択と集中にあると言えます。最少の人員と財源で市政運営を行うためには、業務の効率化を徹底するとともに、事業の優先順位を明確にすることが不可欠であります。優先順位の高い事業には、人と予算を重点的に配分し、役割を終えた事業は見直すといったバランスの取れた戦略が必要となります。限られた人員を適材適所に配置し、必要に応じた予算配分のバランスを図りつつ、市民目線に立ったサービスの向上と効率的な行政運営に努めてまいります。



Q 消防団の装備拡充と実情を踏まえた配備スケジュールは

A 団員の声を最大限に尊重し全体の底上げを図る

問

各分団によって本場に必要としている物品は異なるが、状況や現場の声をどのように吸い上げ、実際の配備計画に反映させていくのか。拡充する装備と現場の実情を踏まえた配備スケジュールは。

答 警防課長

装備の拡充につきましても、単に新しいものを導入するのではなく、現場で活動する団員の声を最大限に尊重し、本市の地理的特性や災害種別に適応した装備を選定してまいりたいと考えております。その中でも、安全性を備えた防火服の増加が喫緊の課題であると考

備スケジュールであります。毎年9着分を予算計上しており、それ以外にも安全確保に直結する保安帽や、著しく老朽化している資機材から優先的に更新を行い、財政負担の平準化を図りながら、計画的かつ着実に全体の底上げを図ってまいります。



大月市消防団

その他の質問

問 環境政策担当について

問 地域産業の振興と「強い大月市」の実現は

議会日誌

あなたも傍聴しませんか

2月（後半）

16日	議会運営委員会
19日	大月都留広域事務組合議会
	山梨県後期高齢者医療広域連合議会
24日	全員協議会
	令和8年第2回（3月）市議会定例会 開会
	予算審査特別委員会
27日	東部広域水道企業団議会

3月

4日	総務産業常任委員会
5日	社会文教常任委員会
10日	議会運営委員会
	全員協議会
	代表質問・一般質問
13日	予算審査特別委員会
16日	予算審査特別委員会
17日	予算審査特別委員会
19日	議会運営委員会
	全員協議会
	令和8年第2回（3月）市議会定例会 閉会
	市議会広報委員会

4月

21日	議員定例懇談会
22日	第275回 山梨県市議会議長会定期総会
23日	第92回 関東市議会議長会定期総会
28日	市議会広報委員会

◆表紙の写真

令和8年4月25日に笹子地内に笹子追分人形保存会「継承の館」が開館し、記念上演が行われました。

市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様にご親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様のご貴重なご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。詳しいことは、議会事務局へお問い合わせください。

※審議の経過によって、予定の時刻を変更して行うことがあります。

6月定例会の日程（予定）

●開会日	6月5日
●代表質問	6月19日
●一般質問	//
●一般質問（予備日）	6月22日
●総務産業常任委員会	6月23日
●社会文教常任委員会	6月24日
●閉会日	6月26日

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

3月定例会の代表質問・一般質問にも多くの方に傍聴に来ていただき、背筋を伸ばし議会活動に取り組んでいます。大月市政の今後の重点施策を分かりやすく紹介するため、広報委員会は毎回長時間に及びます。

令和8年度当初予算の議決においては、附帯決議事項を委員会の意見として付しており、予算審査特別委員会委員長報告（要旨）で紹介しております。ぜひご覧ください。

（担当：藤本 実）

Editorial note

発行 大月市議会
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp



市議会
広報委員会

委員長	天野 築
副委員長	藤本 実
委員	鈴木 基方
委員	山地 渉
委員	鈴木 康揮
委員	鈴木 竜児



この市議会だよりは、環境保護のため、再生紙・植物性インキを使用しています。